



6月の園だより

令和6年度 川崎保育園
文責：水落

主 題：生き物を大切にしよう（生命の尊重）
生活目標：あさ、ひる、よる、食べたらみがこう3分間

「目に青葉 山ホトトギス 初鯉」

さわやかな初夏の風がとても気持ちよく感じられます。上の句のとおり、まぶしいくらいの新緑や、園の裏山に響くホトトギスの声、お刺身やたたきなど鯉もおいしい季節です。1年の中でも過ごしやすい時期ですね。でも、もうすぐ梅雨がやってきます。去年は、5月末に九州北部も梅雨入りしてしまいました。今年は例年並みという予報ですが、いずれにせよこれから湿度の高いじめじめとした日々が続きます。体調管理には気を付けていきたいですね。

さて、新型コロナウイルス（以下コロナ）が「5類（インフルエンザと同扱）」となって1年が過ぎました。黒木の大藤まつりや花火大会など、各地で行われたさまざまなイベントも、ほぼコロナ以前の姿となったように思います。ただ、手足口病やヘルパンギーナなどの感染症が流行しているようです。前者については警報が出されている地域もありますし、後者も、場合によっては重篤な症状となることもあるそうです。先にも述べましたように、これから蒸し暑い日が続く季節となります。また、今年の夏は、例年以上の猛暑となるとの長期予報も出されています。体調管理の面で、厳しい季節となることは間違いありません。園でも、手洗いうがいなどの感染予防を徹底させていきます。ご家庭でも、お子さまのようすをしっかりと見ていただき、日々の体調管理はもちろん、咳、鼻水等風邪様の症状がある場合は、必ず医療機関での受診をお願いいたします。

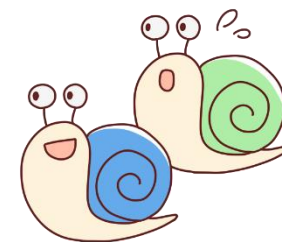
6月 生まれのおともだち



6月の予定

- 4日（火）虫歯予防デー
- 7日（金）歯科検診
避難訓練・消火訓練
- 25日（火）誕生会

本園の保育のねらい



リズムとテンポとくり返し

本園が取り入れている「総合幼児教育研究会（総幼研）」のすべての活動において、上記の原則が徹底されています。それは、子どもの持つ生来の欲求に即したものであるからです。

心地よいテンポ（速さ）があること、明快なリズム（律動）があること、そしてそれをくり返すこと。そのことを子どもたちは歓迎します。単純に楽しいのです。

リズムとテンポとくり返しのある環境に身を置くだけで、幼児期の脳は良い刺激を受け続けることとなります。子どもの「動きとことばとリズム」の活動に引き込む「リズムとテンポとくり返し」は、幼児期の子どもの教育にとってたいへん重要な要素です。



ひとりではできないことが、みんなとならできる。

みんなとできることは、やがてひとりでもできるようになる。

園では仲間とともに活動をおこないます。日課活動も一人で行うことはできません。できないというより、一人では得ることのできないとも高めあう感覚…友が友を呼び、力をあわせ、時に補い合う集団としての効果があります。

たとえば、最初はだれもいえないような音読でも、先生の声についていく子がいます。すると「ぼくもわたしも」という共振するような連帯感がうまれ、広がり、いつの間にかみんながいえるようになるのです。

多くの活動において、同じことがいえます。幼児期においては、まず集団の力をはぐくみ、そこから将来、この能力を引き出していくことが大切と考えています。

7月の予定

- 5日（金）七夕まつり・保育参観

（※夏まつりは8月23日に行う予定です。）

